

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第 84 回 原子燃料サイクル専門部会 議事録

1 日 時：2020 年 11 月 5 日（木）13:30～16:30

2 会議方式：Web 会議

3 出席者（順不同，敬称略）

（出席委員）高橋部会長，加藤副部会長，田村幹事，浅野，大間，小畑，片岡，久野，斉藤，佐々木，
澤田，白井，高橋（秀），武田，立川，林，元辻，柳原，山本（武），山本（正）（20 名）

（欠席委員）坂下，中島，藤田（3 名）

（委員候補者）高橋 浩之（東京大学）（1 名）

（常時参加者）浅見（1 名）

（欠席常時参加者）川村（1 名）

（説明者）【リサイクル燃料貯蔵分科会】白井幹事，松本委員（延べ 2 名）

（事務局）田老，牧野（2 名）

4 配付資料

- FTC84-0 第 84 回原子燃料サイクル専門部会議事次第（案）
- FTC84-1 第 83 回原子燃料サイクル専門部会議事録（案）
- FTC84-2 人事について
- FTC84-3-1 “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：202X” 標準改定原案に関する当専門部会決議投票で頂いた意見の対応について
- FTC84-3-2 “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：202X”（改定案）（新旧比較表）
- FTC84-3-3 “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：202X” 標準改定案 完本版
- FTC84-3-4 ” 使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：202X” 改定提案
- FTC84-3-5 中間報告及び標準改定提案説明の手順について
- FTC84-3-6 標準委員会審議の役割，確認すべき事項等の説明
- FTC84-4-1 標準作成ガイドラインの改定提案
- FTC84-4-2 標準作成ガイドラインの新旧比較について
- FTC84-4-3 JIS Z 8301：2019 と標準作成ガイドラインとの比較検討
- FTC84-4-4 標準作成ガイドラインの改定についての御意見への対応
- FTC84-4-5 標準作成ガイドラインの見直し版
- FTC84-5 分科会活動状況
- FTC53-6-1 標準策定 5 か年計画の公開に向けて
- FTC53-6-2 標準策定 5 か年計画の更新ガイドライン（抜粋）

FTC53-6-3 標準委員会の標準策定5か年計画の更新について（依頼文書：ドラフト版）

参考資料

FTC84-参考1 原子燃料サイクル専門部会委員名簿（案）

FTC84-参考2 原子燃料サイクル専門部会出席実績

講習資料

FTC84-講習資料 標準委員会における倫理について

5 議事内容

(1) 倫理教育

2020年度の倫理教育は、9月9日の第81回標準委員会において実施した。専門部会では、多くの委員は、標準委員会に参加しているが、部会内での議論はされていないことから、倫理教育での問いかけを中心に限られた時間であったが議論した。議論にあたっては事前に委員の意見を確認しそれを基に議論を実施した。

総括すると次のとおりである。

- 「活動の基本方針」の8項目については、十分という意見と十分でないという意見があった。不足しているものに、「客観性」等があり「継続性」は入れる必要ありとの意見もあった。また、8項目は独立ではなく、従属関係にある項目もあるとの指摘もあった。
- 標準の継続的改善は、思考停止を避け、新知見を効果的に反映するという観点で必要という意見が多数。新知見が容易に入手できる専門家集団である学会の役割は重要。標準への新知見反映では「目的」、「手段」の両面がある等の意見があった。
- 多様な意見の集約や議論の充実等のためには、委員がしっかりコミットしていく必要があるが、マンパワーが不足していることが課題。規制庁の参画により、より充実した議論が期待できる。専門部会では短い時間の中でポイントを絞った議論にしていくことが必要。
- 検査する側の裁量に左右されないよう学会標準が必要。また、ユーザーが利用しやすい標準を目指すべきとの意見があった。外部に向けて分かりやすい情報発信が必要。特に、安全性の訴求には手続きの安全性を示していく必要があることなどが指摘された。

(2) 出席者確認

事務局から開始時、委員23名中、20名が出席しており、成立に必要な定足数（16名以上）を満足している旨報告された。

(3) 前回議事録（案）の確認（FTC84-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

(4) 人事（FTC84-2）

事務局からFTC84-2に基づいて、専門部会及び分科会の人事について以下の提案があり、分科会の委員退任等が確認され、審議の結果、専門部会委員の再任等が決議された。

【専門部会】

1. 決議事項

(1) 委員選任

高橋 浩之 東京大学

(2) 委員再任

元辻 弘行 原子燃料工業 2020.12～2022.11

柳原 敏 福井大学 2020.12～2022.11

浅野 隆 日立GEニュークリア・エナジー 2021.02～2023.01

【分科会】

○輸送容器分科会

1. 承認決議事項

(1) 委員選任

島 晃洋	東京電力ホールディングス	
松本 光郎	原燃輸送	

2. 確認事項

(1) 委員退任

水谷 淳	東京電力ホールディングス	2020. 09. 30
高月 英毅	原燃輸送	2020. 10. 05

(2) 幹事退任

高月 英毅	原燃輸送	2020. 10. 05
-------	------	--------------

(3) 幹事指名

松本 光郎	原燃輸送	
-------	------	--

○リサイクル燃料貯蔵分科会

1. 確認事項

(1) 委員退任

水谷 淳	東京電力ホールディングス	2020. 09. 30
------	--------------	--------------

○LLW 放射能評価分科会

1. 承認決議事項

(1) 委員選任

平井 輝幸	東京電力ホールディングス	
-------	--------------	--

2. 確認事項

(1) 常時参加者登録承認

副島 吾郎	日本原子力研究開発機構	
-------	-------------	--

○ウラン TRU 取り扱い施設クリアランスレベル検認分科会

1. 確認事項

(1) 常時参加者登録解除

福岡 善房	中部電力	2020. 10. 14
-------	------	--------------

(2) 常時参加者登録承認

大森 宏貴	中部電力	
-------	------	--

○LLW 処分安全評価分科会

1. 確認事項

(1) 常時参加者登録解除

長谷川 優介	日本原燃	2020. 08. 24
--------	------	--------------

(5) 【報告・審議】(FTC84-3-1～FTC84-3-6)

“使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：201X” 標準改定原案に関する当専門部会決議投票で頂いた意見への対応及びコメントを反映した標準改定の標準委員会への提案について

(担当：リサイクル燃料貯蔵分科会 白井幹事，松本務委員)

リサイクル燃料貯蔵分科会 白井幹事，松本委員から FTC84-3-1～FTC84-3-6 に基づき，題記の標準改定原案に関する当専門部会決議投票で頂いた意見への対応案について説明があり，審議の結果，対応案が編集上の修正であるか否かについて 1 週間の意見募集を行うこと，その意見が，「編集上の修正」であると部会長が判断した場合は，次回標準委員会に最終報告する，「編集上の修正でない」と判断した場合は，再度書面投票することが決議された。

なお，意見募集にあつては，分科会で，修正箇所が「編集上の修正等，軽微な変更」であるか否かを明確にして，各委員に提示することとした。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

C:本標準は部会投票で既に可決されているため、標準委員会に本報告するためには今回のコメントによる修正が「編集上の修正等、軽微な変更」に当たるかの判断が必要である。

(3) 【報告】 (FTC84-4-1～FTC84-4-5)

標準作成ガイドラインの見直しについて
(担当 事務局)

事務局から FTC84-4-1～FTC84-4-5 に基づき、題記について、標準委員会での意見募集の結果、意見が無かったことが報告された。また、各専門部会からの意見に対する対応及び、次回標準委員会で審議予定である旨の説明があった。

(4) 【報告】 (FTC84-5)

原子燃料サイクル専門部会 分科会活動状況について
(担当：各分科会代表者等の関係者)

分科会の代表者から FTC84-5 に基づき、分科会の活動状況について報告があった。

(5) 【報告】 (FTC84-6-1～6-3)

標準策定5か年計画の公開に向けて
(担当：事務局)

事務局から FTC84-6-1～6-3 に基づき、題記標準策定5か年計画の公開について及び、次回標準策定基本戦略タスクで審議後、標準策定5か年計画の変更について依頼する旨の説明があった。

7 その他

次回は、2021年2月4日（木）9:30からの開催に決定した。

以上